

温故知新 IIN30 年記念行事 Farewell party を終えて



思い返すと、2012 年訪問団の日程が発表された頃、その週末の個人的な予定と重なり、「Welcome party と Farewell party のパーティしか参加できないな。」と、当初はがっかりしておりました。なぜなら、日程をみると outing は秋の奈良と京都、workshop に市内散策と、まさに IIN 会員の個性が発揮される行事になりそうな、おもしろそうな内容でした。

毎月定例会に行くたびに、準備委員の方々から募集や説明が

あり、IIN 会員がみんなで取り組もうとしているなか、パーティのみの参加とは、何ともはがゆい気持ちでおりました。ところが、Farewell party の司会の依頼がありました。大役ではありますが、せめて1つは協力したいと思い、引き受けようか迷いながらも司会をさせていただきました。



準備とは、どれだけ準備してもきりがなかったものでした。いつもパーティに参加すると受付でいただく「次第」。プログラムのことなのですが、皆さんのお手元に届くまでには、たくさんの方が関わっているものだと知りました。



何度も変更があり、手直しが入り、その確認作業もあり、前日でも当日でも関係なく、最新版がメールで届きます。そして「次第」を自分なりの表現で司会のことばにします。日本語とは、こんなにたくさんの表現があったのかと思いました。会話をする時は、相手に伝わるまで言葉を変え、相手の返事を聞くというコミュニケーションがあります。ところが、司会とは簡潔に人に伝わることばを、たった一つだけ選ぶ作業ということを学びました。これが意外と難しいのです。

さて本番。とにかく、緊張はしないように、言い間違えないように……。続いて、通訳が明るく楽しく話してくださるので、とても心強く、安心していました。私も、声を通るようにいつになく高め声を出してみました。普段より若い声に聞こえましたでしょうか？ Farewell party に出席された IIN 会員に後日伺いたいと思います。





歓談のあとは、フルートの音色に合わせて、歌あり、ダンスあり。Bさんの歌でも盛り上がりま
 したね。やはり、言葉をどれだけ準備しても、音楽の力にはかないません。

出席者も参加型の party が、やはりいいですね。

当日の変更も、企画メンバーや事務局の指示を受けな
 がら進行していきます。「最後まで無事に終わることが
 でき何よりでした。」というのが本音です。

このように素晴らしい機会を持てたのも、30年に渡っ
 て姉妹都市活動室の先人の方々が続けてきたからだ
 と、改めて感じております。今後とも、IINとミネア
 ポリス市そしてMISCAとの素晴らしい交流が続いて
 行くことを願っております。

Y.K記

